



大洗町観光振興計画 観光まちづくりビジョン

『共創』



平成31年3月
大洗町



ごあいさつ

大洗町は、水と自然に恵まれた歴史・文化、更にはさまざまな観光資源を有する茨城県を代表する観光リゾートのまちです。

社会構造の変化や定住人口の減少などの諸問題を抱える中、観光振興が地域経済活性化の施策として益々重要となっていきます。国は平成18年12月に観光立国推進基本法を制定し、日本の成長を牽引する産業の一つに位置付け観光立国を強力に推進しています。

観光客の旅行形態は、団体型から個人型へ、さらにアジア諸国を中心とした外国人旅行客の増加など、観光を取り巻く環境は大きく変化してきています。



環境の変化や観光客のニーズを的確に把握し、地域の資源に磨きをかけ、受入れ体制や情報発信の充実を図ることが重要であります。そのための計画として「大洗町観光振興計画観光まちづくりビジョン」を策定しました。

震災後の復興事業もほぼ全体の完成を迎えて、海岸線や道路環境は機能化されたところであり、観光客は年々回復基調で推移しています。

大洗町が、県内第一の観光地として、さらに誇り高いまちとして発展していくためには、大洗観光の原点である宮下地区の観光機能の強化、風土に根ざした食・観光の促進、訪日外国人など多様化する観光需要への対応の強化、ビーチ文化の創造とアクティビティの強化、歴史や文化を核とした観光の促進、コンテンツツーリズムを通じた観光まちづくりに取組むことが重要であると考えます。

日本初のユニバーサルビーチの大洗サンビーチ、ラムサール条約登録の涸沼、莊厳な日本美で来訪者を魅了する神磯鳥居や大洗磯前神社、大洗港のクルーズ船やマリーナなど様々な観光資源を活用するとともに、海の幸に歴史・文化を融合させる取り組みで魅力度を高め、訪れた方々が食べて・見て・遊んで・おもてなしを受けて、満足して帰っていただけるよう「五感で楽しむ感幸の町」に向け取組んでいきます。

それを持続安定的なものにしていくには、個性ある地域の魅力を観光事業者・住民・地域が一体となり磨き上げ、同じ想いに立って「共創」でまちづくりを進めていくことが大切です。大洗はおもしろい・楽しいと人の心が動けば、まちづくりに参加する人も増え、ビジネスの場として民間投資も生まれます。お互いが繋がり、おもてなしの心で、大洗の更なる活性化に向け道を拓いて、これからも小さくともキラリと光る町として輝きを放ち続けていきます。

おわりに、本計画の策定にあたりまして、ご指導ご支援を賜りました大洗町観光振興計画策定委員並びにワーキンググループの皆様をはじめ、ご協力いただいた皆様に対しまして心からお礼を申し上げます。

平成31年3月

大洗町長、小・岩 隆亮

目 次

第1章 計画策定の趣旨

1. 観光ビジョンの基本的な考え方	2
2. 計画の策定期間	2
3. 国・県の方針について	2
4. 国の新たな目標値について	3
5. 計画の位置付け	3

第2章 現状と課題

1. 大洗町について	6
(1)概況	6
(2)大洗町観光の歩み	8
(3)大洗町観光の変遷	9
(4)目指すべき観光大洗	10
2. 大洗町観光の検証(内部環境)	11

第3章 大洗町観光の将来像

1. 基本方針	14
2. 観光行動の変化と多様化	15
(1)観光ニーズの多様化 《コンテンツツーリズムからの学び》	16
3. 観光ニーズと4つの柱による施策の展開	17
4. 4つの柱	18
(1)ニーズ別重点施策	18
5. 戰略的施策	19

第4章 施策の展開

1. 共創	22
2. 魅力発信	23
3. 環境	24
4. 食	25
5. おもてなし	26

第5章 計画の推進体制

1. 組織体制と進行管理	28
2. 計画の見直し	29

【資料編】

国内旅行の現状	32
茨城県の観光入り込み客の推移	34
大洗町の観光入り込み客数の推移	35
大洗町年間宿泊者の動向	36

【名簿】

大洗町観光振興計画策定委員会委員名簿	37
大洗町観光振興計画策定ワーキンググループ名簿	38